

# Welcome to なかどまり 2人の外国青年が新たに

町に新しい外国語指導助手 (ALT) が2人やってきました。7月29日(水)には、トレヴァー・マッシーさん(アメリカ・ウィスコンシン州出身22歳)が、8



月5日(水)にはジョナサン・リヤンさん(アメリカ・イリノイ州出身22歳)が、町長室を訪れてあいさつしました。

トレヴァーさんは、「子どもの頃空手に興味があり、大学では日本語を4年間勉強しました。英語を教えるのがこれから楽しみ。」と話しており、ものすごく意欲が感じられました。ちなみに、日本食はOKとのこと。一方ジョナサンさんは、「これからの時代は国際感覚が大事。日本の文化に興味があり、子どもが大好きなので、英語の大切さを教えながら、自分にとって



も日本を体験するいいチャンスなのでがんばりたい。」と抱負を述べていました。

トレヴァーさんは小泊地域で、ジョナサンさんは中里地域でこれから小・中学生に英語を教えます。町で見かけたら、気軽にあいさつしてください。2人も日本語がすごく上手いので、大丈夫ですよ。

## 金魚ねぶた作りの 教室を開催

7月30日(木)〜31日(金)の2日間 にわたって、中央公民館で金魚ねぶたづくり教室が行われました。

教室には10人の参加があり、30日には針金で胴体づくり・紙貼りを行い、31日には墨入れと色づけを行って金魚ねぶたを作りました。



兄弟で参加した佐々木小百合さん(武田小5年)と亮輔さん(同2年)は、今回は弟がやりたいたったので参加したそう。弟の亮輔さんは「胴体に紙を貼り、針金に沿って紙を切るのが難しかったけど、色塗りが楽しかった。」そう。姉の小百合さんは「今年で2回目の参加。去年よりスムーズにできたが、やはり紙を切るのが難しかった。作った金魚ねぶたは、家に飾っておく。」とっていました。

## ちびっ子も満喫 金多豆蔵の世界

7月30日(木)に中里保育所入所児の前で、「金多豆蔵人形芝居」が上演されました。

この上演は、保育所の呼びかけに、金多豆蔵人形一座の3代目主宰者である木村巖さん(竹田地区在住)が応じたもので、「岩見重太郎ヒヒ退治」と「人形手踊り」を披露しました。

木村さんのお話によると、最初は別の演目を用意していたのですが、ご自身のお子さんがこの話がいいということ、ちょっと大人向けの話でしたが、この演目にしたそうです。保育士に連れられてきた子どもたちは、これから始まる人形



劇を前にドキドキワクワクの様子。いよいよ開演となり、金多と豆蔵の津軽弁で繰り広げられる絶妙な掛け合いに、大きな笑い声を出していました。さすが津軽の子どもたちといったところです。周りの保育士たちも、子どもたちと一緒に津軽伝統の人形芝居の世界を存分に楽しんでいました。

## 宝寿 地域の安全を守る 大学の 警察の役割を学ぶ

中央公民館で7月31日(金)に、「高齢者の交通安全について」と題して、中里駐在所巡査長の天内邦彦氏による講演が開かれました。この講演は、宝寿大学の講義の一環として行われ、地域に密着して住民の安全を守っている天内さんに講演を依頼し実現しました。



天内氏は、中里地域を巡回して気づいたことや、体験談を交えて講演。交通安全についての映画上映などを行いました。141人の受講生は熱心に講演に聴き入っていました。



# 室温50度の世界 堪能？

## 真夏のストープ列車

恒例の「真夏のストープ列車」が8月4日(火)、今年も津軽中里駅に到着しました。

「のれ／それ／中里実行委員会」主催で行われるこのイベントは、夏に訪れる観光客のお客様にも、津軽の風物詩である「ストープ列車」を体験してもらおうと企画されたもので、今年で実に11回目を数えます。

約80人の観光客を乗せた真夏のストープ列車は、津軽中里駅へ午後4時に到着。中里三味線



会による演奏での出迎えが行われ、車窓からはたくさん拍手がありました。

三味線の音色を至近距離で録音する人もおり、またホームに

特設された物産品売り場では買い物客でごった返すなど、大いに盛り上がっていました。

神奈川と東京から来た男性3人の方は、「車内で催しがあったよかったです。時間もちょうどいい」といい、埼玉から来た方は「立佞武多を見に来た。車内はとにかく、暑かった！」と感想を述べていました。

また、このイベントには中里中学校生徒のボランティアが2人参加しており、五所川原駅でのお客様の呼び込みや、車内でもてなしスタッフを体験し、非常にがんばっていました。

### 今泉下地区

## エコ石けんの作り方を学ぶ

役場運転室前で、EM石けんの作り方の講習会が7月30日(木)に行われました。

この日は、今泉下地区住民からの申し出で開かれ、5人の女性が参加。環境衛生課の職員が講師となり、家庭などから出る廃油から、どのようにしてEM菌入りの石けんを作るのかを教え、一緒に作業しました。

まず、苛性ソーダと水をオイル缶などに入れて、棒でか



き混ぜます。結構な重労働です。その後、EM菌を混ぜながら、食用油を少しずつ入れていきます。最後は、EM菌のパウダーなどを入れ、かくはん機でひたすらかき混ぜると完成です。できた石けんは、皆さんに持ち帰

ってもらいました。型で1週間ほど置いた後、約1か月たつと石けんとして使うことができるようになります。

この講習会は、「もったいない町民運動」の一環として行われ、地球環境の保護を目的に開かれるものです。EM菌入りの廃油石けんは、台所の悪臭を抑えたり、体臭やお風呂のカビを抑制するなどの効果があるそうです。5人以上の住民が集まれば、環境衛生課に申し出ることができ、講習を受けることができます。あなたの地区でも受講してみませんか。

## 小学生芸術鑑賞会 生の感動を味わう



7月17日(金)、町総合文化センターパルナスで、町内小学校の芸術鑑賞会が行われました。

この鑑賞会は、生の芸術を体験させたいと、教育委員会が主催して行っているもので、今年で5回目です。

この日は、町内の小学校児童が一堂に集まり、「劇団め組」による「はだかの王様」を鑑賞しました。

本やアニメの中でしかふれることのない物語が、劇という形で上演されることに興味津々の子どもたちでしたが、笑いあり、悲しみありの劇に歓声があがったり、感動していました。

### 第5回健やか野球大会

## 少年球児の迫力プレー 随所に

小泊ふれあい運動場で7月28日(火)から29日(水)にかけて、第5回中泊町「健やか少年野球大会」が開催されました。

「若い芽を健やかに伸ばそう」をスローガンに、小学校8校、中学校4校あわせて約2000人の球児たちが熱戦を繰り広げました。

わが町からは、小学校4校、中学校2校が出場し、武田クラ



ブと中里中学校が決勝に進みましたが、惜しくも準優勝という結果でした。がんばった選手の皆様、お疲れ様でした。



# 力の限り戦う 障害者スポーツ大会

8月7日(金)、町体育センターで第44回西北つがる地区身体障害者スポーツ大会が開催されました。

多数の来賓出席のもと、「風船割り競争」「玉入れ競争」「輪投げ競争」「ボール送り競争」「林檎拾い競争」「地区対抗リレー」の全6種目の競技種目で勝敗を競いました。特に、最後の種目「地区対抗



リレー」は、この日一番の盛り上がりを見せ、多くの拍手と声援が会場に響きました。わが町の身障福祉会は、第4位と健闘しました。

# 偉業達成を報告 川浪さん5年連続優勝

8月12日(水)、東北町で行われた県民体育大会男子砲丸投げで、5年連続優勝を果たし、大会長から表彰された川浪晋司さん(薄市地区在住)が、町長に表彰を報告しました。



川浪さんは、県民体育大会の

砲丸投げ選手として約30年間出場。通算20数回の優勝を誇る県内でも有名な選手です。

報告では町長から、「長年にわたる健康管理など大変だったと思う。5年連続どころかたくさんさんの優勝を積み重ねているのは素晴らしい。」とあり、川浪さんは「中学校から砲丸投げをやってきたが、団体が2位になって以来、県民体育大会で20数回優勝できた。これからもがんばっていききたい。」と述べていました。

重ねた優勝回数にびっくりです。今後もけがをすることなく、さらに優勝を重ねられるよう期待しています。

# 大勢の卓球少年・少女が奮闘

7月20日(日)、町体育センターで「第5回津軽地区小学生卓球選手権大会」が、県下から約300人の参加者を集めて開かれました。

会場には、選手のほかたくさんの観客が訪れ、ちびっこ選手のかわいいがんばりや、高学年選手の迫力ある戦いのほか、熱を帯びた応援団の歓声に包まれ、熱気あふれる雰囲気の中で戦った。

地元中里クラブでは、いずれも全国大会へ出場している村上



莉羽さんと富士鈴奈さんが奮闘し、村上さんは男子3・4年シングルで優勝、富士さんは女子5・6年シングルで3位を獲得しました。

# 功績認められ 表情晴れやか

日本オリンピック協会奨励賞

オリンピック有望選手を育成した実績が評価された小山内誠さんが、(助)日本オリンピック協会から奨励賞を受賞しました。

8月17日(月)に町長に報告した席では、全国優勝した打越奎也くんを育てるなど、相撲競技の指導者として評価されたことを報告。「子どもたちががんばったおかげで、このような賞ももらえた。これからも選手の育成に尽力したい。」と述べていました。

また打越奎也くんにも、オリンピック有望選手として、認定



証が送られてきました。相撲王国「中泊」を目指して、がんばってください。

**株式会社 卓立水産**

新鮮な魚介類がいっぱい!  
**産直承ります**

〒037-0522 青森県北津軽郡中泊町大字小泊字小泊525  
TEL0173-64-3800/FAX0173-64-2143  
<http://www.takuritsu.com>